M&A上期2割減

景気不透明で「体力温存」

電機や海外案件は活発

関西企業が関連する今年度上期（4～9月）の企業のM&A（合併・買収）件数は224件となり、前年同期と比べると2割減った。景気の先行きが不透明で「体力温存」した企業が多かったためとみられる。ただ、リーマン・ショック後のリストラが一巡した電機業界で買収案件が目立つほか、急速に進む円高を好機ととらえ、海外の企業を買収する動きも出ている。

M&A助言会社のレコフ（東京・千代田）が集計した。金額（公表ベース）も1兆409億円と7%減少した。前年同期にはサントリーが仏飲料大手を約3000億円で買収するなど、1000億円を超える大型買収が4件あったが、今年度は2件にとどまった。

成長分野へ投資

金額の上位2件はパナソニックのグループ再編。三洋電機とパナソニック電工の完全子会社化で、合わせて8200億円の大型案件となった。三洋電機ロジスティクスのロングリーチグループへの売却も上位に入るなど、パナソニックは「グループのシナジー（相乗効果）の最大化」（大坪文雄社長）を急いでいる。

4～9月で特徴的なのが電機と海外案件。電機ではパナソニック以外にもシャープが米太陽光発電所開発会社を買収。日本電産は米電機大手エマソン・エレクトリックのモーター事業を買収した（金額は500億～600億円とみられるが非公表）。各社とも2008年秋のリーマン・ショック後に悪化した業績が回復したことで、今後成長が見込める事業への積極投資へとかじを切っている。

海外案件ではアシックスがスウェーデンのアウトドア用品のホグロフスを買収。NTNはオランダメーカーからブラジルの等速ジョイント事業を買収するなど、新興国での事業拡大に向けたM&Aも目立った。

円高、半年で10円

アシックスは今後アジアでも健康意識が高まると予測。「高価格帯の登山用ウエアやリュックサックなどに世界的な需要が生まれる」（尾山基社長）として、買収を機に中国の富裕層など海外市場での攻勢につなげる。

海外案件が増加した背景には、この半年間で約10円の円高となった為替相場もある。日本電産の永守重信社長は「世界各地に生産拠点を分散させ、通貨の強弱にあわせて出荷の割合を決める対応をしないと世界で勝てない」と話す。M&Aでは強くなった自国通貨の

活用で一　できるメ　と、円高　を高める　。海外市　対策に向　&Aが活　企業寄付　は今後も　きそうだ

関西企業が関係する4～9月の主なM&A

買収者	買収(出資)先	金額(百万円)
パナソニック	三洋電機	422,206
パナソニック	パナソニック電工	396,173
ワタキューセイモア	日清医療食品	50,113
シャープ	リカレント・エナジー	26,053
ロングリーチグループ	三洋電機ロジスティクス	17,920
岩井証券	コスモ証券	17,000
アシックス	ホグロフス	11,390
CHIグループ	ジュンク堂書店	9,442
日本電産	日本電産サーボ	7,009
住友重機械工業	日本スピンドル製造	6,413

※レコフ調べ。グループ内M&Aを含む

エマソン・エレクトリックのモーター事業買収を発表する日本電産の永守社長㊧（8月、東京都内）

中国客に上新電機割引券

神戸ポートタワーホテル

神戸ポートタワーホテル（神戸市）は家電販売大手の上新電機と組み、同社の神戸市内の店舗で使える割引券を宿泊客に配る事業を始めた。配布対象は中国や台湾から訪れた宿泊客。上新電機の「三宮1ばん館」で銀聯カードを使って買い物した場合、店頭価格より最大10%値引きするようにしている。中国などからの旅行客が好む家電製品の買い物の利便性を高め、宿泊客増加を狙う。

同ホテルの客室数は約170室。中国からの団体客は毎日40人から80人程度の宿泊があるという。三宮1ばん館は徒歩圏にある。

ホテルの建物は、神戸市の外郭団体の所有となっている。

同市は「中国からの旅行客は神戸を素通りし、大阪に宿泊する傾向がある。関西国際空港と神戸空港を結ぶ高速船ベイ・シャトルを活用した集客にも取り組みたい」（みなと総局経営企画部）と話している。

商議所

品の押し

中小支援で官民連携盛ん

カーが新規事業に乗り出しやすくする。

京都市下京区にある京都市産業技術研究所内に専門組織の窓口を置く。

国の補助金申請に関する助言を受けたり、コンサルティング会社を通じた市場調査を依頼することも可能という。

能をアピールし、市場縮小や後継者不足に悩む伝統産品メーカーの研究開発を後押ししたい考え。京都市内の大学や企業と組んで研究開発をする意向があれば、市内の企業以外でも窓口を利用できるようにする。

レストラン強化

阪神　**スイスホテル**

最上階、1億円で改装

大阪の主要ホテルが直営レストラン事業を相次ぎ強化する。ホテル阪神は14日、健康志向の中華料理店「香虎（シャンフウ）」を開業＝写真。スイスホテル南海大阪は11月6日、最上階のイタリアンレストラン&バー「タボラ36」を1億円を

門の競争力向上を急ぐ。

「香虎」の開業でホテル阪神のレストランとバー全5店が直営となる。個室5室を用意し、女性客を意識した野菜中心の中華を用意する。「直営化でホテル内の宴会や婚礼にも和

柔軟に提供　政光総支配　幅広い層に

スイスホ　36」は17日　装工事に入　36階から　て、天井部　メージした